第３回　高齢者居住安定確保計画策定委員会における指摘事項と対応

１．高齢者施設等一覧について

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 指摘事項 | 発言者 | 対応 |
| 「高齢者施設等一覧」で、食費が入っているもの、介護保険料一割負担を含めたものなどが混在している。費用の比較をするためには、ただし書きでもよいので、記載内容をそろえるべき。 | 柿沼 | 指摘事項に沿って、表を再整理する。 |
| 「高齢者施設等一覧」で、利用者負担段階３を基準としている理由は何か。低所得者ではない、利用者負担段階４を基準にした方が市民にわかりやすい。 |

２．高齢者居住安定確保計画の体系について

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 指摘事項 | 発言者 | 対応 |
| 基本目標の考え方は、「現在の住まいに住み続けられる」、「高齢者向けの多様な住まいを備える」、「地域で見守っていく」で整理するとわかりやすくなる。  地域での居住支援、見守りについて、計画に記載すべき。 | 中島 | 指摘のとおりに基本目標を整理し、施策を展開する。 |

３．施策について

①新規施策について

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 指摘事項 | 発言者 | 対応 |
| 新規施策については、先進事例が説明されたが、船橋市でどのように展開していく考えなのかを知りたい。 | 中島 | 市としての施策を整理する。 |

②サービス付き高齢者向け住宅

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 指摘事項 | 発言者 | 対応 |
| サービス付き高齢者向け住宅の整備については、国の目標ありきなのか。 | 高橋（章） | 高齢者向け住宅の供給量として、提示する。 |
| サービス付き高齢者向け住宅の入居率は８割を切っているのに、補助を出してさらに建てていく意図がわからない。 | 高橋（弘） |
| 入居率を上げるための助成ではなく、地域密着型有料老人ホーム等の待機者の多い施設の整備が望まれている。 |
| 「サービス付き高齢者向け住宅供給量算定」とあるが、民間で展開してきた事業を市がコントロールすることになるのか。 |

③バリアフリー化助成

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 指摘事項 | 発言者 | 対応 |
| 耐震とセットでバリアフリー化を推進していくことで、改修の効果を高める。 | 中島 | 庁内の連携体制を図る。 |